

## ◎議会報告

### 新体育館について

#### Q1 市民

- ・合併特例債はどのくらい 出るものなのか。

#### A 永田委員長

- ・体育館建設に係る分は合併特例債23億8,500万円借りることになるが、そのうち17億5,700万円が国から交付される額。

#### Q2 市民

- ・維持管理費はどのくらいか。

#### A 永田委員長

- ・新体育館は約6,800万円の予定。今の体育館は約900万円である。
- ・20年間で2つを合わせて積み上げると約15億円になる。

#### Q3 市民

- ・内容は具体的に示されていないが、これから検討するということか。  
また、柔道部の施設を作って欲しいという要望があるが検討はしているか。  
平米は示されているが、大きさがどのくらいなのかイメージできない。我々の要望を聞いてもらえるのか。

#### A 永田委員長

- ・基本計画をこれから策定していく。基本コンセプトなど幾つかの内容をこれから作成し、市民の皆さんに公開し、パブリックコメントなどで意見を求めていく。また、面積等はアンケートを行った時の資料に大体の概要を示しているが詳細は決まっていない。現在、武道関連の施設は基本的に作る予定はない。細かい点については基本計画が決まってからである。

#### Q4 市民

- ・土地買収はスムーズにいくのか。

#### A 永田委員長

- ・建設予定地には市街化調整区域も含まれており、今後時間がかかる可能性もあり、庁内横断的なチームを立ち上げていく必要がある。
- ・地権者は15人程のようであるが、絶対反対という方は今のところ聞いていない。

#### Q5 市民

- ・建設委員会に体育協会メンバーを入れていくことはできないか。

#### A 永田委員長

- ・現段階では市民参加の協議会のようなものを作る予定はないということである。なぜなら、建設規模、場所、予算などがほぼ決まっている。これ以降は、専門の業者が進めてい

く。

- ・市民の皆さんから意見をいただく際に、体育協会の皆さんには相談していくということなので、その時には応援をしていただきたい。

#### **Q6 市民**

- ・今の体育館を壊すべきという声があるが、災害時の救援物資の受け入れ場所として残して欲しい。また、市内の体育施設の絶対数も足りていない実情もある。

#### **A 永田委員長**

- ・現在の体育館については平成19年に国の補助を受けて約2億円をかけて耐震改修をおこなった。
- ・今回の定例会で、取り壊したらどうかという複数の意見があったのも事実であるが、国の補助を受けているので当面は使用していく。

#### **Q7 市民**

- ・建設費、維持管理費などが心配であるが、えんぱーくは建設後に人が集まる施設となり、市としても効果があったが、今回の体育館については、そのようなことも考えて建設に踏み切るといふことか。

#### **A 永田委員長**

- ・市民に皆さんは、巨額のお金をかけて建設することについて、何らかのしわ寄せが来たり、市の財政にも影響が出るのではと考えていると思う。
- ・議会が、今回建設賛成に踏み切った理由に、合併特例債が使えることということがあった。合併特例債は、平成32年を過ぎると使えなくなってしまうため、それまでに竣工するという制約がある。これを逸すると、おそらく塩尻市では体育館の建設はできないだろうという判断をした。
- ・財政状況から考えると、市が負担する額は、10年で約10億500万円であり、借金返済も含めて1年間約1億円で、市にさほど負担がなくなると考える。一方で、道路整備費を3億から4億削っていかないと、新体育館を運営していくことは難しいというシミュレーションを見せてもらっているが、その頃には社会インフラの整備もある程度は済んでいるため大きな費用は必要なくなるのではないかと考えている。
- ・新体育館を建てたことにより、今後、市税が上がるということは決してない。